

## 令和2年度社会保障関係予算のポイント(概要)

- 社会保障関係費の自然増が5,300億円と見込まれる中、実勢価格の動向を反映した薬価改定や、これまでに決定した社会保障制度改革の実施等の様々な歳出抑制努力を積み重ねた結果、社会保障関係費の実質的な伸びは対前年度+4,111億円となり、同計画における社会保障関係費の実質的な伸びを「高齢化による増加分(令和2年度+4,100億円程度)におさめる」という方針を着実に達成。
- 令和2年度診療報酬・薬価等改定  
医療費の伸び、保険料などの国民負担、物価・賃金の動向、医療機関の収入や経営状況、保険財政や国の財政に係る状況を踏まえ、診療報酬改定について+0.55%(国費+605億円)とするとともに、薬価等について市場実勢価格を反映する等により▲1.00%(国費▲1,110億円)とする。
- 消費税増収分等を活用した社会保障の充実等  
「新しい経済政策パッケージ」(平成29年12月8日閣議決定)及び「経済財政運営と改革の基本方針2019」(令和元年6月21日)等を踏まえ、令和元年10月の消費税率の引上げによる増収分の概ね半分により社会保障の充実を実施。

(単位:億円)

項目	元年度	うち、 通常分	2年度	うち、 通常分	元→2'増減	
						うち、通常分
社会保障関係費	341,306	340,627	358,608	358,121	17,302 (+5.1%)	+17,495(+5.1%)
恩給関係費	2,097	2,097	1,750	1,750	▲347 (▲16.6%)	▲347(▲16.6%)